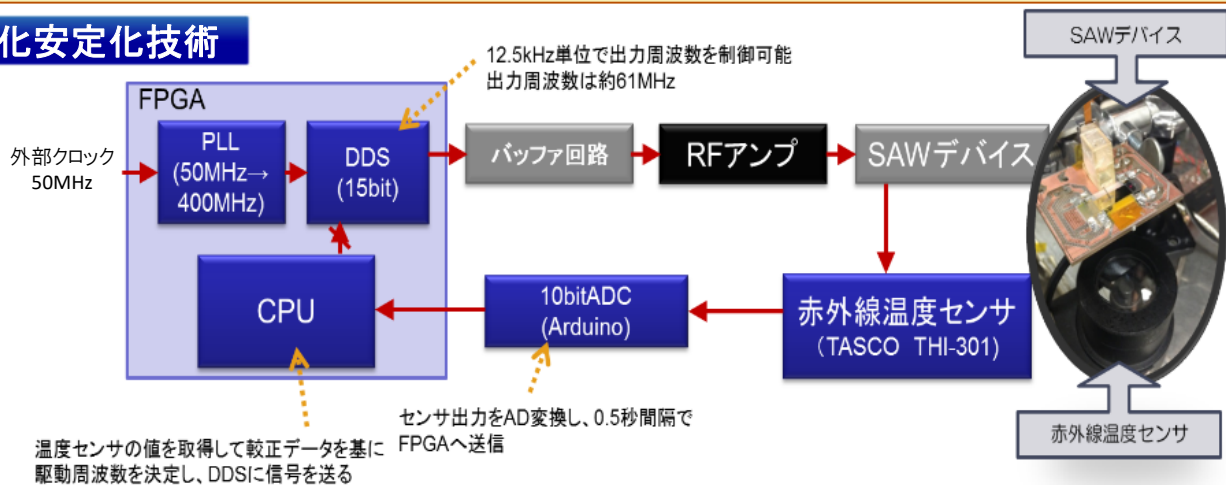


新技術の概要

弾性表面波デバイスとマイクロポンプを用いたウェアラブル臭覚ディスプレイ

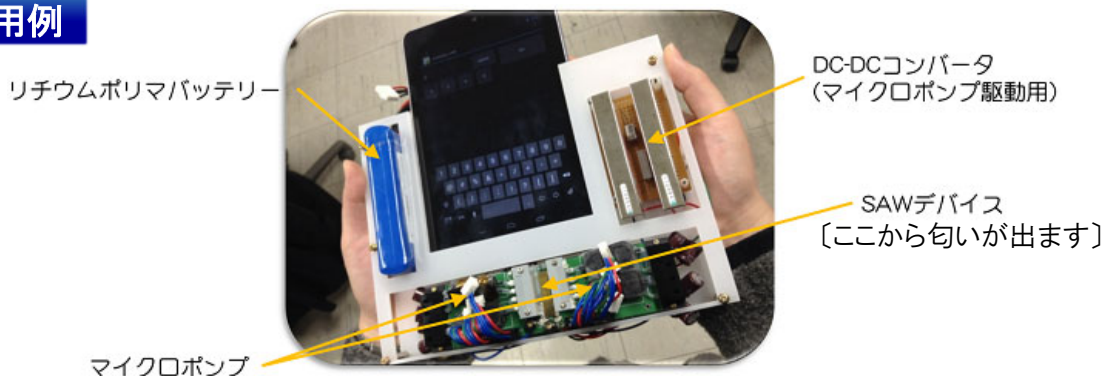
臭覚ディスプレイとは、複数の匂いを任意の割合で調合してユーザに提供する装置です。複数のマイクロポンプから供給された要素臭を弾性表面波(SAW)デバイスで霧化し香りを発生させます。霧化の安定化を可能とする温度補償システム、マイクロポンプの駆動回路の小型化、マイクロポンプと要素臭液溜の一体化を行うことで、臭覚ディスプレイの大幅な小型化を実現しました。

霧化安定化技術



◆温度補償システム〔霧化能力が持続し安定化を達成〕

新技術適用例



◆小型化を実現した臭覚ディスプレイ〔タブレット端末に装着可能〕

本技術のアピールポイント

- ウェアラブル臭覚ディスプレイは、ノートパソコンやタブレット端末に取付け、個人ユースでの匂い環境を任意に作り出すことができる匂い袋としての利用が期待されます。

用途分野

- 各種香り (アロマ) の発生装置など

特許情報

発明の名称： 匂い発生装置

発明者： 中本 高道 (科学技術創成研究院 教授)

出願： 2015-040291

公開： 2016-158879

本学整理番号： 14T152



Tokyo Tech

お問い合わせ先：

東京工業大学 研究・産学連携本部

E-mail: tmama@sangaku.titech.ac.jp

TEL：045-924-5171 担当：真間 孝